

DUET デュエット

GUIDE DOG MAGAZINE



おまけの
ページ

盲導犬
すごろくで
遊ぼう♪

20号
発行記念特集

History of the guide dog

～盲導犬の歴史をひも解いてみませんか？～

メットライフ アリコは1995年以来、
盲導犬育成活動を支援し続けています。

MetLife AlicoSM

メットライフ アリコ



〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3 オリナスタワー Tel.0120-880-533(お客様相談部) www.metlifealico.co.jp

PEANUTS ©2011 Peanuts Worldwide

DUET

2011年4月発行 編集人/篠田 林歌 NPO法人 全国盲導犬施設連合会発行
〒160-0007 東京都新宿区荒木町18-7 四谷長岡ビル202号室
TEL.03-5367-9770 FAX.03-5367-9771 www.gd-rengokai.jp 年1回4月発行

Chronological table 1

1971
昭和
46年

社会福祉法人
日本ライトハウス
が職業・生活訓練
センターの屋上に
盲導犬訓練所を
設置。

適性犬の確保やボラ
ンティア集めに奔走
していました。



1970
昭和
45年

中部盲導犬協会
発足。
1974年に愛知県
認可の財団法人と
なる。

当時、ハーネスを着けて訓練しているところ
うち症の犬が歩いていると言われました。



1967
昭和
42年

財団法人
日本盲導犬協会
設立。
当時の厚生省に認
可され、業界初の法
人が誕生。
(2010年に公益
財団法人へ移行)

当時の犬舎。
訓練犬はシエパード
でした。



1971
昭和
46年

財団法人
東京盲導犬協会
(現・アイメイ
ト協会)設立。

1970
昭和
45年

札幌盲導犬協会
(現・北海道盲導犬
協会)設立。
1972年に財団
法人となる。
(2009年に公益
財団法人へ移行)

札幌市琴似に二軒長
屋を借り受け、訓練
所を開設しました。



History of the guide dog

～盲導犬の歴史をひも解いてみませんか?～



年1回発行しているDUETは、おかげさまで20号を迎えることができました。
今回はDUET 20号発行を記念して、盲導犬事業のこれまでの歩みを振り返り、その歴史をご紹介します。

歴史の始まり

犬が視覚障がい者と一緒に歩くことは古くからあったようで、古代都市ポンペイの遺跡からは、視覚障がい者らしき人と犬が歩く姿の壁画が発見されています。

現存する資料としては、1819年、ウィーンのヨハン・ウィルヘルム・クライン神父の著書の中に、盲導犬に関する記述があります。

しかし、現在のように、盲導犬の育成が社会福祉事業として取り組まれるようになったのは、第一次世界大戦後、1916年のドイツのこと。失明した軍人のために、犬の訓練が始まりました。

日本に盲導犬が紹介されたのは、1938年、アメリカ人の盲導犬ユーザー・ゴードン氏が、盲導犬とともに来日し、各地で講演会を開きました。

その翌年にドイツから訓練を受けた4頭の盲導犬が輸入され、日本の交通事情に合うように再訓練後、失明した軍人へ寄贈されました。日本の盲導犬の歴史はここから始まりますが、その後戦争が激しくなり、盲導犬の育成は日本では続かず、国内で盲導犬育成がスタートしたのは第二次世界大戦後のことでした。

時代とともに、日本での盲導犬の育成と普及はどのように進んでいったのでしょうか。
次ページからご紹介します。



Chronological table 3

1993
平成5年

平成5年度の税制改正で、国家公安委員会の指定を受けた盲導犬育成団体が、特定公益増進法人として認定された。

★ポイント★
盲導犬育成団体が、公益公共に著しく寄与する法人として認められました。

1995
平成7年



各盲導犬育成団体の相互協力機関として設立されました。

全国盲導犬施設連合会が発足。
全国盲導犬協会連合会を発展的に解消し、現在盲導犬育成団体8団体が加盟。
2008年にNPO法人となる。

1994
平成6年

全日本盲導犬使用者の会発足。
育成団体の垣根を越えた交流、啓発活動を行っている。

1981
昭和56年

九州盲導犬協会発足。
1983年に財団法人福岡盲導犬協会（現・九州盲導犬協会）設立。1989年国家公安委員会の指定を受ける。
（2010年に公益財団法人へ移行）

訓練センターの建設
用地資金確保に沢山の皆さまの力をいただきました。



1997
平成9年

社団法人兵庫県盲導犬協会（現・兵庫盲導犬協会）設立。
2001年国家公安委員会の指定を受ける。
（2004年に社会福祉法人へ移行）

隣の牧場から土地を借り受け、総合訓練センターを開設しました。



Chronological table 2

1973
昭和48年

当時の国鉄が旅客営業取扱基準規定を一部改正。

★ポイント★
全国的に盲導犬同伴での乗車が認められるようになりました。

1980
昭和55年

関西盲導犬協会設立。
1983年に財団法人となり、同年、国家公安委員会の指定を受ける。
（2010年に公益財団法人へ移行）

線路横の2階建て長屋の1階を改築し犬舎にしています。



1973
昭和48年

栃木盲導犬センター（現・東日本盲導犬協会）設立。
1974年に財団法人となる。
（2010年に公益財団法人へ移行）

盲学校跡地の、校長官舎からスタートしました。



1978
昭和53年

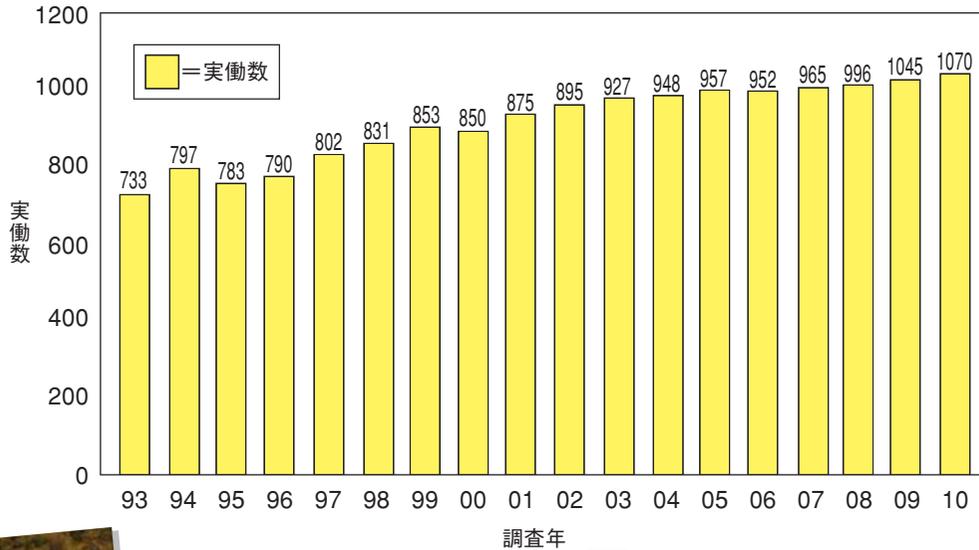
道路交通法の改正により、法的に盲導犬の存在が認知され、目の見えないうちは、杖が盲導犬を連れていなければならぬと定められる。

また、6法人（※札幌盲導犬協会・栃木盲導犬センター・日本盲導犬協会・東京盲導犬協会・中部盲導犬協会・日本ライトハウス）が国家公安委員会の指定を受ける。
（※）当時の団体名

★ポイント★
盲導犬ユーザー本人がハーネスをつけた盲導犬と歩いている時、車の運転手は徐行、又は停止するよう義務付けられました。

日本国内の盲導犬実働数の変化

社会福祉法人 日本盲人社会福祉施設協議会 リハビリテーション部会 盲導犬委員会「盲導犬訓練施設年次報告書」より



盲導犬は国内での育成が始まってから約50年で1,000頭を超えました。

新たな未来へ向け、私たちは皆様に盲導犬について正しく理解していただく為、啓発活動にも力を入れ、これからも活動を続けてまいります。

こんなことを聞いたことはありませんか？
これはどちらの間違いです。
盲導犬は仕事のストレスで短命であると思われるがちですが、実際は楽しんで仕事をしていること、子犬の頃から健康管理に気を付けていることから、家庭でペットとして飼われている犬より長生きです。これは、盲導犬の寿命について調査した結果、明らかにになりました。
また盲導犬は何でも出来るスーパードッグではありません。
信号は、盲導犬ユーザーが周りの音や、人の足音を聞いて渡れるかどうか判断し、目的地までの道のりも、盲導犬ユーザーが頭の中に地図を描き、盲導犬に指示を出しています。
社会的認知が進んでいることは、とても喜ばしいことですが、盲導犬に対する誤解、間違ったイメージは、時に盲導犬ユーザーの方を悲しませ、傷つけることがあります。

2000
平成
12年

改正社会福祉法で盲導犬事業が第2種社会福祉事業と規定される。
(2001年施行)

身体障害者補助犬法成立

●身体障害者補助犬とは？

補助犬とは「盲導犬」、「聴導犬」、「介助犬」のことで、それぞれ国が指定した法人から認定を受けている犬のことをいいます。

●法律の内容

公共施設、公共交通機関、お店、宿泊施設、病院など、不特定かつ多数の人が利用する施設の管理者は、その施設を身体障がい者が利用する場合、補助犬を同伴することを拒んではいけないとしています。

また、2008年には都道府県・政令指定都市・中核市での相談窓口が設置、職場(従業員56名以上の事業所)での受け入れが義務化されました。

2010
平成
22年

公益財団法人
日本補助犬協会が国家公安委員会
の指定を受ける。

新たな未来に向けて

盲導犬に対する社会への認識や、受け入れ体制は、1970年代に入ってから、少しずつ広がっていきました。

先にお示した以外にも、例えば、1978年には、盲導犬のバス、タクシーへの乗車が認められ、また、盲導犬の同伴について、1981年には旅館・飲食店、1991年にはホテル・旅館等に理解を求める通達が、行政から出ています。

このような通達の中で、盲導犬ユーザーは乗り物や施設を、盲導犬同伴で少しずつ利用できるようになり、人々にもその存在、役割が認知されるようになりました。

今ではテレビなど、マスコミの影響もあり、「盲導犬」という存在だけではなく、どのような仕事をするどんな犬なのか、多くの方がご存知です。

ところがその一方で、盲導犬について少し間違った認識が広まっていることも事実です。

例えば、

◆盲導犬は短命である。

◆盲導犬は、ユーザーが知らない場所も案内するし、信号機の色も判断できるスーパードッグである。

街で盲導犬ユーザーと 出会ったら

盲導犬は仕事中、「ハーネス」という白、もしくは黄色の胴輪をつけています。
このハーネスをつけているときは仕事中です。



🐾 仕事中の盲導犬に声をかけないでください。

盲導犬はハーネスをつけているときは仕事に集中しているので、さわったり、声をかけたりしないようにしましょう。

また、さわらなくても犬の目をじっと見つめるのもやめましょう。
気が散って盲導犬ユーザーを安全に誘導できなくなってしまいます。

🐾 盲導犬に食べ物を与えないでください。

盲導犬は盲導犬ユーザーとともに、規則正しい生活を送っています。
健康管理のため、そしてトイレのタイミングをコントロールするため食事の時間も決まっており、決められたものしか口にしないようにしているので、かわいい、と思っても食べ物を与えないでください。

🐾 そっと見守ってください。

何もしない人に対して、盲導犬がいきなり吠えたり、かんだりすることはありません。犬が苦手な場合は、目の見える人の方からそっと避けていただけると助かります。

**盲導犬ユーザーが困っている様子だったら
どうぞ人の方へお声がけをお願いします**

補助犬OKの気持ちはステッカーで表示を

身体障害者補助犬法の施行により、お店、施設等は、補助犬同伴の利用を拒むことはできません。ところが残念なことに、補助犬同伴を理由に入店を拒否されてしまうケースがあります。

全国盲導犬施設連合会では、盲導犬や介助犬、聴導犬を受け入れることを示していただくための「補助犬同伴可ステッカー」を作成しています。
街中のあらゆる場所に温かい心を伝えるために、どうぞご協力ください。



盲導犬ユーザーからのメッセージ

変える喜び・変わる喜び

清水和行さん/パートナー・ヤード



🐾 県内初の盲導犬ユーザーとして

1989年に盲導犬ユーザーとなりましたが、当時、私の住んでいる県には盲導犬ユーザーは1人もいなかったため、盲導犬という名前は知っていても、見た事がない人ばかりの県でした。

そのような環境なので、タクシー、電車、バス、とにかく初めてのことは、全て交渉から始まります。船では、犬をカゴに入れてくださいと言われてました。盲導犬ユーザーが、犬を入れられるほどの大きなカゴを持つては歩けませんし、仮に入れたとしても、どうやって担ぐのでしょうか。そんなことが大真面目に、平気で言われる時代でした。

お店は、盲導犬同伴では入れないことが普通でしたが、入れてくれたお店には「ありがとうございます。こちらのようなお店が出来ると助かります。」と御礼を言い、そこの店長にサインをもらっていました。そのサインが増えていくことは私の中での楽しみでした。

社会を変えていく事が、県内初の盲導犬ユーザーである私の宿命、責任だと思い、活動してきました。ボランティア団体、地元の大学生も一緒にとても頑張ってくれましたし、マスコミも応援してくれました。大変でしたが、街も変わり、自分たちも変わっていく、変える喜び、そして変わる喜びがありました。

🐾 原点に戻って再スタート

今は、盲導犬を知らない人はいないでしょうし、基本的に、盲導犬同伴での入店や乗車を拒否してはいけない、ということを知識として持っている人も多いと思います。「なんでバスに犬がいるの!？」と言う子どもがありますが、たいしては、そのお母さんが「あれは盲導犬といって目の不自由な人を助ける犬なのよ。お仕事中だから触ったらダメよ。」と教えています。小学校の教科書にも載るようになり、家庭や学校の教育の中で、子どもたちに盲導犬の意義や役割について、大人が教えられるようになりました。



時間はかかりましたが、地道な活動を粘り強く続けた努力の成果だと思います。盲導犬ユーザーとなって22年目、ずっと忙しくさまざまな活動をしてきましたので、これからは盲導犬と歩くことの本質、楽しみ方を、もう一度原点に戻り、考えたいと思っています。

盲導犬すごろくで遊ぼう

サイコロとコマは各自で用意をお願いします

スタート!
START!



盲導犬に適した繁殖犬から盲導犬は生まれます。



mogumogumoguru

1 目が開く。
1マスすすむ。

2

3

4 歩き出す。
2マスすすむ。

5

6 生後2ヶ月頃



バビーウォーカーの家庭で愛情を込めて育ててもらいます。

バビーウォーカーとは、盲導犬候補の子犬を約10ヶ月間飼育していただくボランティアです。

訓練中の犬には声をかけたりさわったりしないでね。

28 訓練中、人に囲まれてすすめない。
1回休み。



共同訓練

盲導犬としての適性を認められると、将来のパートナーとなる視覚障がい者との共同訓練がはじまります。

23 訓練士がお休み。
1回休み。

24

25

26

22

21 エスカレーターを怖がる。
1マス戻る。

20

ゴール!
GOAL!



共同訓練を終え、盲導犬としての第一歩を踏み出しました。でも、2人6脚、力を合わせて歩いていく本当のスタートはこれからです。

16 訓練のはじまり



1歳になると、施設へ戻ってきます。約6~12ヶ月の訓練が始まります。

32

31 エスカレーターにうまく乗れる。
1マスすすむ。

30

29

8 おうちでのんびり。
1回休み。

9

11 海で遊ぶ。波に押されて1マス戻る。

12

13 バビー講習会へ出かける。
1マスすすむ。

15

14

13

15

14

13

15

14

13



enjoy

募金箱設置協力企業

イズミヤ(株)

(株)エコス

(株)ゲオ

(同)西友

(株)ダイエー

(株)長崎屋

(株)マスタ

AHBインターナショナル(株)

(株)イトーヨーカ堂

(株)音通

(株)サークルKサンクス

(株)たいらや

トステムビバ(株)

(株)フジ

メットライフ アリコ

敬称略・あいうえお順

以上の企業のほか個人店舗設置の募金、
企業や大勢の個人の皆様のご寄附・ご協力により、
当連合会の活動は支えられ、運営されています。
みなさまからお寄せいただいた募金・寄附は、
加盟する8施設に分配され、
各地での盲導犬育成・訓練、普及に役立てられます。

パトラッシュ基金

2010年3月、全国盲導犬施設連合会と日本アニメーションが発足した「パトラッシュ基金」では、募金箱の設置、チャリティーオークションの開催、各種イベントでの募金活動、インターネット募金の受付などの活動を行っています。
詳しくは公式サイト、もしくは全国盲導犬施設連合会までお問い合わせください。

日本アニメーション株式会社

〒104-0061 東京都中央区銀座 7-11-14 unb ビル
TEL 03-3574-6281 (平日 10:00~16:00)

公式サイト www.nippon-animation.co.jp/pattrash/



パトラッシュの募金箱が
できました



©NIPPON ANIMATION CO., LTD.

全国盲導犬施設連合会の主な活動報告

盲導犬育成事業にご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

NPO法人全国盲導犬施設連合会は、北海道から九州まで全国に点在する国家公安委員会指定の盲導犬訓練施設の連合体として活動し、1つの施設では取り組めないような全国規模での事業活動を行い、盲導犬事業の発展に努めています。みなさまのご支援・ご協力で平成22年度の事業を行うことができました。誠にありがとうございました。

盲導犬普及を進める広報誌を発行

・「DUET19号」を発行(年1回)。
盲導犬になった犬とならなかった犬、「それぞれの生きる道」を物語として特集しました。募金箱と一緒に常設し、ご自由にお取り扱いいただいております。



・「盲導犬情報」4号・5号を発行。第5号では盲導犬を持たない視覚障がい者を対象にしたアンケート調査の結果報告を掲載しました。

盲導犬受入の促進

・スーパーやお店、公共施設等の出入口に、盲導犬受入を表示する「補助犬同伴可ステッカー」の作成と配布を行いました。
・2010年度盲導犬受入ポスターを作成しました。募金箱設置協力先で掲示しています。



「盲導犬普及啓発活動」を 全国で35回実施

募金箱設置協力店のご協力を得て盲導犬の啓発イベントを実施しました。出会う機会の少ない方々に盲導犬を知ってもらうための活動に積極的に取り組んでいます。



資格認定事業

盲導犬を育成する盲導犬訓練士、盲導犬との生活を指導する歩行指導員の資格を確立して、レベルの向上を図り、その社会的地位を高める資格認定事業を実施。9名の訓練士、5名の歩行指導員を誕生させました。



都道府県別の盲導犬実働数は 1,070頭

北海道...59	埼玉県...59	静岡県...49	鳥取県...5	佐賀県...6
青森県...5	千葉県...36	愛知県...38	島根県...11	長崎県...8
岩手県...20	東京都...101	岐阜県...12	岡山県...21	熊本県...15
宮城県...16	神奈川県...57	三重県...12	広島県...33	大分県...16
秋田県...19	新潟県...29	滋賀県...15	山口県...20	宮崎県...14
山形県...7	富山県...5	京都府...21	徳島県...6	鹿児島県...23
福島県...14	石川県...29	大阪府...59	香川県...7	沖縄県...8
茨城県...24	福井県...4	兵庫県...58	愛媛県...14	
栃木県...10	山梨県...12	奈良県...13	高知県...10	
群馬県...8	長野県...27	和歌山県...9	福岡県...26	



2010年3月31日現在

社会福祉法人 日本盲人社会福祉施設協議会 リハビリテーション部会 盲導犬委員会「平成21年度盲導犬訓練施設年次報告書」より

国家公安委員会指定 加盟施設一覧



NPO法人
全国盲導犬施設連合会

〒160-0007 東京都新宿区荒木町18-7 四谷長岡ビル202号室 TEL 03-5367-9770 FAX 03-5367-9771

HPアドレス: www.gd-rengokai.jp

公益財団法人 関西盲導犬協会

会長 串田 壽明 HPアドレス: www.kansai-guidedog.jp

〒621-0027 京都府亀岡市曾我部町犬飼末ヶ谷18-2

TEL 0771-24-0323 FAX 0771-25-1054

京都に盲導犬を育成する団体を!と願う市民が集まり発足し、昨年で創立30周年を迎えました。多くの方々からご支援いただいていることを励みに、視覚障がい者の方々により質の高い盲導犬を貸与できるよう努めてまいります。



社会福祉法人 日本ライトハウス

理事長 木塚 泰弘 HPアドレス: www.lighthouse.or.jp

法人本部 〒538-0042 大阪府大阪市鶴見区今津中2-4-37

TEL 06-6961-5521 FAX 06-6968-2059

盲導犬訓練所 〒585-0055 大阪府南河内郡千早赤阪村東阪1202

TEL 0721-72-0914 FAX 0721-72-0916

「自立と社会参加のためのパートナーシップ」を基本理念とし、視覚などに障害のある方が、尊厳をもってその人らしい生活ができ、積極的に社会参加をすることを共通の目標として、活動しています。



社会福祉法人 兵庫盲導犬協会

理事長 岸田 衛幸 HPアドレス: www.moudouken.org

〒651-2212 兵庫県神戸市西区押部谷町押部24

TEL 078-995-3481 FAX 078-995-3483

平成13年に誕生した新しい協会です。役職員一同、情熱を持って盲導犬育成に取り組んでいます。また盲導犬希望者、使用者に誠実に対応し、それぞれのニーズにあったサービスを提供しております。



公益財団法人 九州盲導犬協会

理事長 稲田 朝次 HPアドレス: www.fgda.or.jp

事務局 〒810-0062 福岡県福岡市中央区荒戸3-3-39

福岡市市民福祉プラザ内

TEL 092-714-3169 FAX 092-714-3176

総合訓練センター 〒819-1122 福岡県糸島市東702-1

TEL 092-324-3169 FAX 092-324-3386

「良質な盲導犬を一日でも早く、一頭でも多く届けたい。」当協会創業以来の変わらぬモットーです。総合訓練センターでは、盲導犬使用者の皆様にご活用いただける施設としてサービスの向上に努めてまいります。



公益財団法人 北海道盲導犬協会

会長 志田 恭司 HPアドレス: www.h-guidedog.org

〒005-0030 北海道札幌市南区南30条西8丁目1-1

TEL 011-582-8222 FAX 011-582-7715

最北端に位置する当施設は雪道歩行、在宅指導、老犬ホームなど、視覚障害者の支援と安心のために様々な取り組みに挑戦しています。待っている人達の笑顔のために、一刻も早く応えることが目標です。



公益財団法人 東日本盲導犬協会

代表理事 磯崎 久喜雄 HPアドレス: www.guide-dog.jp

〒321-0342 栃木県宇都宮市福岡町1285

TEL 028-652-3883 FAX 028-652-1417

視覚障害者に対する地域リハビリテーションを重視し、地域に根ざした良質なサービス提供を心がけています。関東一円を中心に、盲導犬の育成・提供をはじめ、白杖歩行の訪問指導、生活訓練なども行っております。



公益財団法人 日本盲導犬協会

理事長 井上 幸彦 HPアドレス: www.moudouken.net

東京本部 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町21-3-3F

TEL 03-5452-1266 FAX 03-5452-1267

日本盲導犬 〒418-0102 静岡県富士宮市人六381

総合センター TEL 0544-29-1010 FAX 0544-54-3030

神奈川 〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田町6001-9

訓練センター TEL 045-590-1595 FAX 045-590-1599

仙台 〒982-0263 宮城県仙台市青葉区茂庭字松倉12-2

訓練センター TEL 022-226-3910 FAX 022-226-3990

島根 あさひ 〒697-0426 島根県浜田市旭町丸原155-15

訓練センター TEL 0855-45-8311 FAX 0855-45-1139

1年間に50頭の盲導犬の育成体制を構築。4つの訓練センターには特色があり、神奈川は訓練士学校があり訓練の中心地、仙台は視覚障害リハビリ、富士宮は出産～引退犬まで一貫飼育、島根は受刑者のパピープログラムです。



財団法人 中部盲導犬協会

会長 殿塚 猷一 HPアドレス: www.chubu-moudouken.jp

〒455-0066 愛知県名古屋市港区寛政町3-41-1

TEL 052-661-3111 FAX 052-661-3112

創立41年。「両手持ち」を特徴とした盲導犬の育成。かつて身を挺して盲導犬使用者を交通事故から守った盲導犬「サーブ」を育てる。視覚障害者の「安全なガイド」と「心の癒し」を保証するために日々努力しています。

